

後れたる人の歌二首

一六八〇番

あさもよし 紀伊へ行く君が 真土山 越ゆらむ
今日そ 雨な降りそね

一六八一番

後れ居て 我が恋ひ居れば 白雲の たなびく山
を 今日か越ゆらむ

忍壁皇子に献る歌一首

一六八二番

とこしへに 夏冬行けや 袈 扇放たぬ 山
に住む人